

第95回卒業式を挙

日本歯科大学新聞

東京千代田区富士見
日本歯科大学新聞会
発行兼編集人 中原 泉
発行日 偶数月末日
定価 1部10円
編集室 (〒951-8580)
新潟市浜浦町1-8
☎025(267)1500



本学創立100周年
大学ロゴマーク

両学部239名が巣立つ 卒業証書No.一八九五九号に

日本歯科大学第九十五回卒業式(学位記授与式)は、三月中旬、両学部において挙行し、二二九名の学士(歯学)を送り出した。あわせて日本歯科大学大学院第四十三回修了式(学位記授与式)が催され、二十二名の博士(歯学)が誕生した。また新潟短期大学と附属歯科専門学校の卒業式も挙行された。

第43回大学院修了式を併催

歯学部

歯学部の部は、三月二十五日に歯学部富士見ホールにおいて、大学院四十三回修了式(学位記授与式)を併催して挙行された。定刻午前十時、米澤登原務部長から開式が宣せられた。

歯学部

はじめにクラス主任の内川喜盛助教授より、平成十七年度卒業生二五名の氏名が呼びあげられ、内野隆生君が代表して、中原泉学長より栄えある卒業の証として学位記を授与された。つづけて学術優秀賞二

歯学部

はじめにクラス主任の内川喜盛助教授より、平成十七年度卒業生二五名の氏名が呼びあげられ、内野隆生君が代表して、中原泉学長より栄えある卒業の証として学位記を授与された。つづけて学術優秀賞二



学位記を授与される卒業生代表(歯学部)

つぎに中原学長が告辞に立ち、「諸君は歯科医師臨床研修必修化がスタートした年、本学が創立百周年を迎えた年、さらに生命歯学部名称変更した年に巡り合わせた幸運な卒業生である。これらの大きな巡り合わせは、諸君が過ごした六年間の思い出とともに心に長く残るだろう」と告辞を述べた。

ここで在学学生を代表して、第五学年の黒川正寛君が送辞を述べ、卒業生を代表して田中麻衣子さんが、大学院修了生を代表して塚田賀子さんが答辞を述べた。



告辞を述べる中原学長(新潟歯学部)

新潟歯学部

新潟歯学部の部は、三月十七日に新潟歯学部講堂において、第四十三回大学院新潟歯学研究科修了式(学位記授与式)を併催して挙行された。定刻午前十一時、大場憲栄事務部長から開式が宣せられた。

はじめにクラス主任の土川幸三教授より、平成十七年度卒業生一一四名の氏名が呼びあげられ、安間千紘さんが代表して、中原学長より学位記を授与された。つづけて学術優秀賞四名、皆勤賞十名、精勤賞十一名、学術奨励賞十名、臨床実習優秀賞一名に賞状等が授与された。

ついで大学院新潟歯学研究科長の加藤喜郎教授より、新潟歯学研究科博士課程修了生七名の氏名が呼びあげられ、一人ひとりに研究の成果を証する博士(歯学)の学位記が授与された。つぎに中原学長が卒業生に送る告辞を述べた。ついで村上俊樹新潟歯学部長が「歯科医師は食育への理解を深め、国民の生涯にわたる健康の増進に積極的に関わる」と告辞を述べた。

三病院の名称を変更

本学は、四月一日より東京、新潟の三病院の名称を、次のとおり変更した。これは、患者さんに分かり易い短い名称に改めたもの。

- 旧・日本歯科大学歯学部附属病院 → 新・日本歯科大学附属病院
- 旧・日本歯科大学新潟歯学部附属病院 → 新・日本歯科大学新潟病院
- 旧・日本歯科大学新潟歯学部附属医学科病院 → 新・日本歯科大学新潟歯学部附属医学科病院

の学位記と、ホームヘルパー二級の修了証書が授与された。

内田学長は告辞に立ち、「昨年から学校教育法が改正され、短期大学士の学位が授与されることになった。今後の長い道のりを日々研鑽していただきたい」と述べた。

ついで村上新潟歯学部長が祝辞を述べた。

附属歯科専門学校の卒業式は、三月十四日に歯学部富士見ホールにおいて挙行された。まず西田紘一校長から、第三十三回歯科衛生士科卒業生五十三名、第三十七回歯科技工士科卒業生八十一名に専門士(医療専門課程)の卒業証書が授与された。あわせて第三十五回歯科工学専攻科十八名に修了証書が授与された。

- 〔東京キャンパス〕
 - 学部 学名 日本歯科大学歯学部 歯学科
 - 旧名称 日本歯科大学歯学部
 - 新名称 日本歯科大学附属病院
 - 研究科 日本歯科大学大学院歯学研究科
 - 旧名称 日本歯科大学大学院歯学研究科
 - 新名称 日本歯科大学大学院生命歯学研究科
 - 病院 日本歯科大学附属病院
 - 旧名称 日本歯科大学附属病院
 - 新名称 日本歯科大学附属病院
 - 病院(医科) 日本歯科大学新潟歯学部附属医学科病院
 - 旧名称 日本歯科大学新潟歯学部附属医学科病院
 - 新名称 日本歯科大学新潟病院
 - 住所 日本歯科大学新潟歯学部附属医学科病院
 - 電話 〇二五二二六七一五〇〇
- 〔新潟キャンパス〕
 - 学部 学名 日本歯科大学新潟歯学部 歯学科
 - 旧名称 日本歯科大学新潟歯学部
 - 新名称 日本歯科大学新潟生命歯学部
 - 研究科 日本歯科大学新潟生命歯学研究科
 - 旧名称 日本歯科大学新潟生命歯学研究科
 - 新名称 日本歯科大学新潟生命歯学研究科
 - 病院 日本歯科大学新潟生命歯学部
 - 旧名称 日本歯科大学新潟生命歯学部
 - 新名称 日本歯科大学新潟生命歯学部
 - 病院(歯科) 日本歯科大学新潟生命歯学部附属病院
 - 旧名称 日本歯科大学新潟生命歯学部附属病院
 - 新名称 日本歯科大学新潟生命歯学部附属病院
 - 住所 日本歯科大学新潟生命歯学部附属医学科病院
 - 電話 〇三三三二六一五五一

学部学科研究科病院名称変更のご挨拶
理事長 中原 泉
平成十八年四月吉日

18年度 入学式を挙

晴れの新入生たち……

平成十八年度の日本歯科大学の入学式は四月初旬、生命歯学部と新潟生命歯学部で挙行された。あわせて大学院、東京短大、新潟短大の入学式も行われた。

生命歯学部

生命歯学部の部は、四月十日に生命歯学部本館富士見ホールにおいて挙行された。
定刻午前十一時、米澤登庶務部長の司会により開式が宣せられ、まず生命歯学部新入生二八名、編入学生三名、大学院生命歯学研究科入学生九名の点呼が行われた。
中原泉学長は訓示に立ち、「新入生諸君は本学創立百周年、さらに生命歯学部が学名変更という記念すべき年に入学した。歯科医師のライセンスを取得するのは決してたやすくはない。諸君のこれからの努力次第である」と述べた。
ついで生命歯学部入学生を代表して笹川美穂さん

新潟生命歯学部

新潟生命歯学部の部は、四月六日に新潟生命歯学部講堂において挙行された。
定刻午後一時、大場憲栄事務部長の司会により開式が宣せられ、まず新入生九十六名、編入学生二名、大学院新潟生命歯学研究科入学生二名の点呼が行われた。
中原学長が新入生に訓示し、村上俊樹新潟生命歯学部長が祝辞を述べた。ここで、姉妹校であるタイのマヒドン大学からの訪問学生六名が紹介された。ついで新潟生命歯学部新入生を代表して田



点呼に起立する新入生(新潟生命歯学部)

東京短期大学

日本歯科大学東京短期大学の入学式は、四月十日に生命歯学部富士見ホールにおいて挙行された。
定刻午後一時、飯田豊短大事務部長の司会により開式が宣せられ、まず歯科技工学科新入生四十名、歯科衛生学科新入生六十一名、専攻科(歯科技工学専攻)入学生十五名の点呼が行われた。
古屋英毅学長が新入生に訓示し、住友雅人附属病院長が祝辞を述べた。ついで新入生を代表して歯科衛生学科の宮崎世子さんが宣誓し、午後一時半閉式した。

新潟短期大学

日本歯科大学新潟短期大学の入学式は、四月六日に新潟生命歯学部講堂



新入生に訓示する中原学長(生命歯学部)

大学院入学生

平成十八年度日本歯科大学大学院生命歯学研究科入学生(九名)と、新潟生命歯学研究科入学生(二名)、十七年度後期入学生(一名)は次の通り。(生命歯学研究科)

- 解剖学Ⅱ 内田守紀
- 保存学 原学
- 補綴学Ⅱ 黒田聡一
- 補綴学Ⅰ 岸田幸恵
- 口腔外科学 山内由隆
- 矯正学 呉健一
- 矯正学 土持宇
- 麻酔学 安田麻子
- 歯周病学 五石智美

クラス主任

- 平成年十八年度日本歯科大学の生命歯学部、新潟生命歯学部、新潟短期大学、東京短期大学、附属歯科専門学校のクラス主任は次の通り。(カッコ内数字は学年、下段は副主任)
- (生命歯学部)
 - (1) 傘 孝之 菊池憲一郎
 - (2) 酒井サヤカ 春原正隆
 - (3) 勝海一郎 武田守
 - (4) 八重垣健 松野智宣
 - (5) 熊澤康雄 中村俊弘
 - (6) 羽村 章 新井一仁
- (新潟生命歯学部)
 - (1) 鈴木常夫 岡 俊哉
 - (2) 影山幾男 赫多清
 - (3) 木村智彦 佐藤利英
 - (4) 又賀 泉 小菅直樹
 - (5) 佐藤 聡 岡田康男
 - (6) 土持 眞 森 和久
- (東京短期大学)
 - (歯科技工学科)
 - (1) 朝比奈栄次 市川 基
- (新潟生命歯学研究科)
 - (1) 尾崎順男 雲野泰史
 - (2) 荒井千明 野村正子
 - (3) 齊藤洋一 合場千佳子
 - (4) 専攻科歯科技工学専攻科長 中山正彦
 - (5) 附属歯科専門学校
 - (1) 浅沼直樹 片野志保
 - (2) 伊藤鉄栄 土田智子
 - (3) 高橋正志 宮崎晶子
 - (新潟短期大学)
 - (1) 夏野徹也 将月紀子
 - (2) 山口佳男 齊藤勝紀

☆12都市で開く☆

- 平成十八年度「入試相談会・進学懇談会」の開催地、開催日は次の通りです。同会は他大学と合同で行われますが、会場では本学入試担当の教職員が、ご質問やご相談に応じます。
- 福島：六月七日(水)
- 郡山：六月八日(木)
- 宇都宮：六月九日(金)
- 水戸：六月十日(土)
- 大宮：六月十一日(日)
- 新宿：六月十二日(月)
- 新潟：六月十三日(火)
- 長岡：六月十四日(水)
- 甲府：六月十五日(木)
- 長野：六月十六日(金)
- 静岡：六月十七日(土)
- 浜松：六月十八日(日)

伊藤一元理事逝去

元学校法人理事の伊藤一先生は、四月六日、肺炎のため港区南青山の自宅で逝去された。享年九十歳。



伊藤先生は、昭和十三年日本歯科大学専門学校を卒業(第二十七回卒)、三十三年に青山医療センターを開院。昭和五十三年より平成十二年までの二十二年間、学校法人日本歯科大学理事を務められた。葬儀・告別式は四月十四日、東京

小田島元部長逝去

元新潟歯学部事務部長の小田島三郎氏は、四月五日、肺炎のため新潟市の新潟中央病院で逝去された。享年九十歳。

小田島氏は、昭和四十九年から五十六年まで、新潟歯学部事務部長を務められた。

口腔外科 マニュアル

A4判 215頁 定価 5,040円 (本体4,800円+税5%)

- 編集：佐藤田鶴子(日本歯科大学)
- 執筆：
 - 松野智宣(日本歯科大学)
 - 宮坂孝弘(日本歯科大学)
 - 北原和樹(日本歯科大学)
 - 砂田勝久(日本歯科大学)
 - 山口 晃(日本歯科大学新潟)
 - 土持 眞(日本歯科大学新潟)

南山堂 〒113-0034 東京都文京区湯島4-1-11
TEL 03-5689-7855 FAX 03-5689-7857
URL http://www.nanzando.com E-Mail eigyo_bu@nanzando.com

学術奨励生

- 平成十七年度日本歯科大学学術奨励生(二一九名)は、次の通り。
- (歯学部)
 - 一年 中島慎太郎 下部智美
 - 二年 金澤卓也 小野田真由子
 - 三年 前野雅彦 大塚絵里佳
 - 四年 山田恵理 相馬智也
 - 五年 杉本裕也 植松 優
 - 六年 川又幸浩 石口満津子
 - 七年 森岡昌子 秦 響子
 - 八年 阿彦 希 永山友子
 - (歯科衛生学科)
 - 一年 廣畑直子 堀内佑哉
 - 二年 柴田真由美 堀内優計
 - 三年 大西小雪 濱野優計
 - 四年 秋山宗太郎 朝田 充
 - 五年 葉山智子 恒川裕美
 - 六年 星山紘子 若林絹子
 - 七年 宮下佳子 田村麻衣子
 - 八年 石黒和子 森本恵子
 - 九年 天池舞美 片桐飛鳥
 - 十年 生駒久美子 海老澤優一
 - 一年 内山恵理 相馬智也
 - 二年 杉山佳菜子 北 晃
 - 三年 内山裕也 植松 優
 - 四年 辺見浩一 朴 浩平
 - 五年 張 家誠 石口満津子
 - 六年 川又幸浩 石口満津子
 - 七年 森岡昌子 秦 響子
 - 八年 阿彦 希 永山友子
 - (歯科技工学科)
 - 一年 廣畑直子 堀内佑哉
 - 二年 柴田真由美 堀内優計
 - 三年 大西小雪 濱野優計
 - 四年 秋山宗太郎 朝田 充
 - 五年 葉山智子 恒川裕美
 - 六年 星山紘子 若林絹子
 - 七年 宮下佳子 田村麻衣子
 - 八年 石黒和子 森本恵子
 - 九年 天池舞美 片桐飛鳥
 - 十年 生駒久美子 海老澤優一
 - 一年 内山恵理 相馬智也
 - 二年 杉山佳菜子 北 晃
 - 三年 内山裕也 植松 優
 - 四年 辺見浩一 朴 浩平
 - 五年 張 家誠 石口満津子
 - 六年 川又幸浩 石口満津子
 - 七年 森岡昌子 秦 響子
 - 八年 阿彦 希 永山友子
 - (専攻科)
 - 一年 高橋重季 岩間香織
 - 二年 齋藤信平 和田さや香
 - 三年 八木瑞希 荒川いつか
 - 四年 八木拓道 石黒仁江
 - 五年 井田有希子 上田昌和
 - 六年 井田有希子 上田昌和
 - 七年 須田賢司 加藤晃茂
 - 八年 野本高志 池上 慎
 - 九年 齋藤信平 和田さや香
 - 十年 栗林理夢 小出晴子
 - 一年 高橋重季 岩間香織
 - 二年 齋藤信平 和田さや香
 - 三年 八木瑞希 荒川いつか
 - 四年 八木拓道 石黒仁江
 - 五年 井田有希子 上田昌和
 - 六年 井田有希子 上田昌和
 - 七年 須田賢司 加藤晃茂
 - 八年 野本高志 池上 慎
 - 九年 齋藤信平 和田さや香
 - 十年 栗林理夢 小出晴子
 - (附属病院)
 - 一年 高橋重季 岩間香織
 - 二年 齋藤信平 和田さや香
 - 三年 八木瑞希 荒川いつか
 - 四年 八木拓道 石黒仁江
 - 五年 井田有希子 上田昌和
 - 六年 井田有希子 上田昌和
 - 七年 須田賢司 加藤晃茂
 - 八年 野本高志 池上 慎
 - 九年 齋藤信平 和田さや香
 - 十年 栗林理夢 小出晴子